

令和3年度

学校関係者評価報告書

西ブロック

幌向小学校	第二小学校
豊中学校	上幌向中学校

保護者代表	荒木 朋子	第二小学校PTA
地域住民代表	米澤 征騎	上幌向町会福祉部長
他校種代表	鶴岡 智美	ほろむい認定こども園
推進委員	多谷 ゆう子	幌向小学校
推進委員	端崎 元気	第二小学校
推進委員	泉 聡子	豊中学校
推進委員	伊藤 記子	上幌向中学校

西ブロック学校関係者評価委員会

I 活動の記録

- ① 7月 2日 (金) 第1回学校関係者評価委員会 15:30～ 第二小学校
- ② 11月11日 (木) 学校視察 幌向小学校
- ③ 12月17日 (金) 学校視察 豊中学校
- ④ 1月19日 (水) 第2回学校関係者評価委員会 15:30～ 第二小学校

II 評価の概要

A : 達成している	B : おおむね達成している
C : やや課題がある	D : 課題がある

1. 幌向小学校

(1) 学校評価点検表

	評価点			
	A	B	C	D
<p>1 重点目標が、学校運営改善の視点として、適切であるか。</p> <p>*何を、どのように、どんな取り組みで改善を図ろうとしているかを伺うことができるか。</p> <p>また、前年度の反省が反映されているか。</p>	5	2		
	<p>○学校目標達成に向けての取り組みが明確に設定されていた。</p> <p>○重点目標が学校経営の方針であれば、わかりやすい内容である。</p> <p>○あいさつにつながるような目標は感じられなかった。</p> <p>○子どもたちに「社会への自立、自律」を目指していることが明確でわかりやすかった。</p> <p>○前年の反省が重点目標に反映されていると思う。</p> <p>○課題一つ一つ丁寧に取り組んできた成果が一年後のアンケート結果に繋がっていると思います。</p> <p>○見解を反映しやすく取り組まれている。</p>			
<p>2 評価項目の内容や項目数は、適切であるか。</p> <p>*評価内容が目的を持ち、わかりやすく表現されているか。また、評価項目の数も適切であるか。</p>	6	1		
	<p>○6年間の差があるため、項目の表現が少し難しいと思う箇所もある。</p> <p>○アンケート内容や項目数は適切であると思う。</p> <p>○ICTの活用についての項目があってもよい。</p> <p>○小中連携会議で、それぞれのアンケート項目の交流が</p>			

	<p>できたことは、成果と考える。</p> <p>○学校行事の有無、二学期制になったこと等の状況に応じて設問を増減するなど適切な対応だと思います。</p> <p>○児童、保護者、教職員それぞれの視点が活かされるような項目になっている。</p>			
<p>3 評価の時期や方法は、適切であるか。</p> <p>*児童生徒・保護者アンケートや自己評価の時期、方法、内容などが適切のおこなわれたか。</p>	A	B	C	D
	6	1		
	<p>○アンケート回収率が90%を超えていることを考えると時期や方法は適切だった。</p> <p>○ロイロノートを使って行うなど個別対応がし易いように工夫されていると思います。</p> <p>○夏冬の2回の実施で、児童の変容をとらえることができていた。</p>			
<p>4 評価結果の集計や分析の仕方、情報の公開が適切におこなわれているか。</p> <p>*集計の仕方や分析の仕方、表現の仕方などがわかりやすいか。また、情報の公開の仕方が適切であるか。</p>	A	B	C	D
	4	2	1	
	<p>○夏冬の比較は見やすく、児童の変容の分析は興味深い。</p> <p>○ポジティブ回答、平均値だけではなく、昨年との比較や評価につながった要因など良くても悪くても示してくれると保護者の参考になると思う。</p> <p>○アンケート結果を各項目毎に丁寧に分析されている。グラフも大変見やすい。</p> <p>○割合が少なくても改善すべき点があると判断したネガティブ評価にも着目するなどよくしようとする想いが伝わります。</p> <p>○重点課題についての経年変化を追っていて、丁寧に分析が進められていた。</p>			
<p>5 学校の教育活動を通して、児童・生徒や学校の変容が感じられるか。</p> <p>*教育活動の参観などを通して、児童生徒の変容や教師の取り組みの努力を伺うことができたか。</p>	A	B	C	D
	6	1		
	<p>○参観してもらい、意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○児童にも保護者にも分かりやすく、また理解できるような伝達ができていると思う。</p> <p>○学校視察の感想から、子どもたちの目線で教育活動が行われていることがわかった。</p> <p>○先生方の努力の賜物だと思います。</p> <p>○コロナ禍での生活や学校教育のスタイルが変化する中で、学校としてはたらきかけが変容となってできていることは成果であると感じる。</p>			

(2) 評価のまとめ

- ・ 学校評価に取り組むスタンスが確立されており、重点目標や課題に対して向き合おうとする様子が見られた。
- ・ 児童、保護者、教職員相互の視点での評価が行われており、課題が共有され改善にむけて取り組んでいると感じられた。

2. 豊中学校

(1) 学校評価点検表

	評価点			
	A	B	C	D
<p>1 重点目標が、学校運営改善の視点として、適切であるか。</p> <p>*何を、どのように、どんな取り組みで改善を図ろうとしているかを伺うことができるか。また、前年度の反省が反映されているか。</p>	6	1		
	<p>○前年度の反省内容が明確ではなかったと思う。</p> <p>○協議を重ね、「改善を志向する」を意識した取組ができていると思います。</p> <p>○三者のアンケート結果から浮かび上がってきた課題を共有、改善を図ろうとする努力を感じた。</p> <p>○内容に共通性を持たせ、認識の違いを解消する姿勢が感じられる。</p>			
<p>2 評価項目の内容や項目数は、適切であるか。</p> <p>*評価内容が目的を持ち、わかりやすく表現されているか。また、評価項目の数も適当であるか。</p>	5	2		
	<p>○小中で内容を精選し、適切な評価項目だった。</p> <p>○とても細かく色々な視点でアンケート結果を集計している。職員会議での内容の記入もあり、来年度にむけての改善点の意識が共有できている。</p> <p>○項目数は適当だと思う。ICTの活用についての項目があってもよいと思う。</p> <p>○保護者から「アンケートの主体が不明確」という意見もあるため、今後の対応が期待される。</p> <p>○生徒の生活環境の変化から新たに項目を立ち上げるなど、工夫がされたいた。</p>			
<p>3 評価の時期や方法は、適切であるか。</p> <p>*児童生徒・保護者アンケートや自己評価の時期、方法、内容などが適切なおこなわれたか。</p>	7			
	<p>○アンケート回収率が90%を超えていることを考えると時期や方法は適切だった。</p> <p>○生徒は無記名による提出とのことで、年齢に応じた対応で良いと思う。</p> <p>○短期間に回収率も高く、生きた分析がされている。</p>			
<p>4 評価結果の集計や分析の仕方、情報の公開が適切におこなわれているか。</p>	4	3		
	<p>○集計結果が重複しているものがあつたので、まとめてはどうか。</p>			

<p>*集計の仕方や分析の仕方、表現の仕方などがわかりやすいか。また、情報の公開の仕方が適切であるか。</p>	<p>○不登校生徒も増えており、保護者アンケートの記述部分も関連した方がよいかと。</p> <p>○分析結果はとてもわかりやすく傾向が把握しやすいと思うが、見せ方（色あいなど）に工夫があってもよいと思う。</p> <p>○自由記述部分も公開するなど、少数派の声も大切に改善に繋げていこうとする姿勢が素晴らしいです。</p> <p>○学校便りに掲載するなど、生徒や保護者と結果を共有できるよう努めている。</p>			
<p>5 学校の教育活動を通して、児童・生徒や学校の変容が感じられるか。</p> <p>*教育活動の参観などを通して、児童生徒の変容や教師の取り組みの努力を伺うことができたか。</p>	A	B	C	D
	6		1	
	<p>○参観ができず生徒の様子をつかめなかった。変容を読み取ることがわかりづらかった。</p> <p>○教師の取組の努力が見える化するとより一層変容が感じられるような気がする。</p> <p>○ネガティブ意見が増えている項目もあるが、改善に向けての前向きな姿勢が学校側から汲み取れるため、来年度の改善に期待したい。</p> <p>○自己肯定感の高い生徒が多いように感じ、先生方が肯定的に生徒を向け止め接しているのではと推察します。</p> <p>○コロナ禍での生活や学校教育のスタイルが変化する中で、学校としてのはたらきかけが変容となってできていることは成果であると感じる。</p>			

(2) 評価のまとめ

- ・ 状況の変化に柔軟に対応し、評価内容の工夫が感じられた。
- ・ 生徒の無記名など実態に応じた対応と各部会における分析から課題や工夫が学校全体のものになっていると感じる。
- ・ 自由記述部分の公開や学校便りを通じた共有方法など工夫が感じられた。